

## ■第5次総合計画における取組の改善に向けた対応状況

No	実施計画事業	担当課	委員	意見	対応状況
1	民間保育園等施設整備助成事業	子育て支援課	津田委員 綱島委員	<p>・前期基本計画の施策「教育・保育環境（幼児教育）」の現況と課題で「保護者の就労状況の変化や待機児童の状況に応じた必要な教育・保育の量を確保することが喫緊の課題」と認識されているが、事業として公益財団法人児童育成協会から助成を受けた事業者に補助金を交付することになっており、極めて受身的な対応であると考えられる。児童育成協会の助成は一般的に簡単には採択されないものである。課題に対する今後の取組に書かれているように、様々な手法を検討し、市独自の助成事業にすることが望まれる。【津田委員】</p> <p>・民間保育園等施設整備助成事業が対象施設がないので補助金交付に至らなかったとある。最近の情勢をみると八千代市においては待機児童は増えているようだが、近隣他市の状況を見ると待機児童が減少していると聞いている。八千代市では大型保育園の建設は難しいので、小型の保育園（1歳から3歳）を作ることを目指しているように聞いている。保育児童の減少は新規保育園にとって経営的に厳しいと思う。この待機児童の解消は、八千代市直営の保育園等余裕のある所を最大限利用して乗り切るのはいかがでしょうか。建築費も大きく高騰しており、環境が変わってきている。方針の修正を考慮することも必要ではないかと思う。【綱島委員】</p>	<p>・令和4年4月1日時点の待機児童数が増加したことにより、待機児童の集中する1,2歳児の受け皿確保のために賃貸改修による小規模保育事業所の整備に対する助成制度を活用しております。</p> <p>・第2期八千代市子ども・子育て支援事業計画の中間年として、保育を必要とする量の見込みとそれに対応する確保方策の見直しを行い、「新たな施設整備は最小限に抑え、既存施設を最大限活用する」という従来の方針は維持しつつ、過剰な受け皿整備とならないよう、計画的な整備に努めてまいります。</p>
2	学童保育所整備事業	子育て支援課	津田委員	<p>指標の達成状況に「目標達成に向け順調に推移」とされているが、果たしてそう言えるのだろうか。効果検証で述べているように、「村上、緑が丘、八千代台地区など待機児童が多く発生している」という現状から見て、具体的な待機児童対策を行う必要がある。</p>	<p>学童保育所の申請率が増加している状況を踏まえ、第2期八千代市子ども・子育て支援事業計画において、量の見込みと確保方策の見直しを行い、待機児童の解消に向けて対策を進めてまいります。</p>
3	放課後子ども教室推進事業	子育て支援課	隅田委員 松井委員	<p>・施設の建設ではなく、関係各所との協議で実施できるとしても良い事業だと思う。目標が八千代市内全ての小学校というところも良いと思う。せつかく付いている予算を有効に使ってほしい。【隅田委員】</p> <p>・小学校からの不登校、ひきこもりが多いと聞いている。社会との日ごろからの関わりや、人との接点がない一人親家庭が増えていて、話す人も見守る近所もない現状だ。放課後子ども教室に祖父母のような高齢者も参加できると役立つと思う。話をしたり聞いてあげるだけでも良いと思う。【松井委員】</p>	<p>・引き続き関係各課と協議し、全校開設に向けて努めてまいります。</p> <p>・放課後子ども教室は、子ども達の居場所の確保をする事業となっており、様々な児童が参加しています。現在も、地域のボランティア活動を通じて高齢者の方と児童が接する機会などを提供しております。</p>

意見No	実施計画事業	担当課	委員	意見	対応状況
4	高齢者外出支援事業	長寿支援課	松井委員 藤井委員	<p>・移動するのが不便という高齢者の声が多く、タクシー券は大変助かっているようである。他の自治体で活用しているような、どこでも乗れて、どこでも降りられる定額のマイクロバス（デマンドタクシー）などの活用はできないか。市内が広いので市全域では難しいかもしれないが、考えてもらいたい。【松井委員】</p> <p>・タクシー代金の助成策は、有効な支援事業と考えるが、市街化区域内のエリアの方と、市街化調整区域内のエリアの方では、申請件数、タクシー利用時の運賃差による利用の手控え、補助券の運用法（複数枚利用不可）等の影響が想定されるが、効果検証の中で、実態調査を丁寧に行い、地域差が少なくなる運用方法等の検討が必要と考える。【藤井委員】</p>	他市事例等を参考としながら検討いたします。
5	高齢者運転免許証自主返納支援事業	長寿支援課	出雲委員	本事業の目的が高齢者の運転による交通事故の防止ならば、指標名にある「在宅要介護者の～」はやや限定しすぎる記述ではないか。指標を「高齢者の運転による自動車事故件数の減少」または「八千代市在住高齢者の運転免許証自主返納件数」に変更することを検討してもらいたい。	検討いたします。
6	介護保険施設整備事業	長寿支援課	綱島委員	特別養護老人ホーム等整備は順調に推移しているように感じているが、最近、建設費の高騰や備品の品不足等が発生している。国や千葉県に認可された施設では有料老人ホームのように物価スライド方式（料金の引き上げ）がとれない。これに対応する事は今後の整備事業に必要と考える。決定した計画が頓挫することも考慮して対策をすることが重要と思う。	整備事業者を決める「公的介護施設等整備事業者評価委員会」では、税理士や学識経験者（大学教授）にも委員を務めていただき、専門的な立場から意見をいただくと共に、「法人の安定性」や「資金計画の妥当性」の評価をいただいております。また、今後においては、不測の事態による資金計画の変更等が生じた場合の対応について、確認してまいります。
7	公的病院等救急医療事業補助事業	健康福祉課	伊澤委員	コロナ禍の状況を踏まえた内容になっていないのではないかと。コロナ禍において、八千代市の方向性として、どのようにしていきたいのかが見えない。方向性があるからこそ、具体的にどのように医療体制を充実させていくべきかという話になるのでは。	コロナ禍においても救急医療体制を継続し、市民が安心安全に暮らすことができるよう、令和4年12月より、補助金の積算単価を増額し、救急医療事業に従事する医師の確保に努めているところです。
8	外国語指導助手派遣事業	指導課	津田委員 豊田委員 福永委員	<p>・「やや目標達成困難」とあるが、その根拠が示されていない。結局予算が不足しているのではないかと。早期に全校に一人ずつ配置できるように努力願いたい。なお、留意願いたいのは、「ネイティブ」な英語を読み書きできる人材をどのように選択し、採用するかが重要である。そのためには、採用する側の人材に配慮する必要がある。【津田委員】</p> <p>・派遣人数を増やす目標に進んでいない原因や障害を精査し、少しずつでも増員を実現してもらいたい。【豊田委員】</p> <p>・限られた中で語学の習熟にどれほど期待できるかは難しいが、外国人と直接コミュニケーションを取る機会が多くなることは望ましい。【福永委員】</p>	国際教育、外国語教育のさらなる充実を図るために、ALTの増員や時間増が必要であります。令和5年度予算において、増員に取り組むこととしております。

意見No	実施計画事業	担当課	委員	意見	対応状況
9	コンピュータ教育事業	教育センター	津田委員 福永委員	・指標の達成状況に「やや目標達成困難」とあるが、GIGAスクール構想は国家の事業として推進しているものであり、達成困難では困る。早急に原因を調査し、対策を立ててほしい。【津田委員】 ・学校でのコンピュータ教育が家庭での使用方法や利用状況、使用環境の格差を考える機会になれば良い。【福永委員】	本市は、整備してきたICT教育の環境を有効活用しており、児童生徒の学習や教職員の業務改善につながっております。毎年実施されている文部科学省の調査でも、本市の教職員は研修や実践をとおしてICTの活用機会が増えていることがわかっており、今後も活用を推進していく計画であります。教育現場の実態に対する指標の妥当性については、今後検討が必要であります。
10	交通安全施設整備事業	土木維持課	藤井委員	交通安全施設整備の内容ではないが、現在、国土交通省の運輸支局で確認が進められているバス停の設置位置の安全確認については、自治体が積極的に地域の方々の相互理解を得ながら、バス事業者との協議・調整が求められるため、公共交通会議等で運輸支局から示される状況を踏まえ、施策メニューに直接かかるものではないが、配慮することが求められてくると思う。	八千代市地域公共交通会議において、千葉運輸支局から状況等を示された場合には、バス事業者との協議・調整を行います。
11	通学路整備事業	土木維持課	福永委員	交通標識が街路樹によって見えにくい所や歩道の植え込みが伸びた所は、人や車の飛び出しが気かりである。地域の人の協力だけでは及ばないところもあり、行政の対応が求められる。	交通標識が街路樹によって見えにくい箇所や歩道の植込みが伸びた箇所については、可能な範囲で市で対応しております。
12	バラ苗配布事業	公園緑地課	村山委員	「事業の認知度向上」「愛着を持ってバラを咲かせてもらう(半年後の記念としての残存)こと」がポイントと捉えるが、自宅の庭で育てて咲いたバラのコンテスト(実際のバラの出来栄、育てる際の家族のエピソード等)のようなものを行うことで家族協力してバラを咲かせることへのモチベーションの向上を図ることができるのではないかなと思う。シティプロモーション事業と絡めて考えると良いのではないかなと思う。	いただいた意見を参考に、バラへの愛着及び生育のモチベーションの向上につながるような取組について検討いたします。八千代市地域振興財団や関係部署とも必要に応じて調整を図り、事業を補完するような取組を研究してまいります。
13	(仮称)八千代市地域公共交通計画策定事業	都市計画課	藤井委員	これまで廃止したコミュニティバスの代替を図る交通手段について、個別施策の検討に留まっている。特に、地域ごとの町会長等へのヒアリング中心の意向調査であったため、十分に地域の利用ニーズに応えられる各種交通モードの検討ができていない。地域公共交通計画の策定においては、上位計画(総合計画や都市マスタープラン等)との関係性を確認しながら、単なるフォアキャスト型の整備にならない計画策定をお願いしたい。	地域公共交通計画は、地域にとって望ましい公共交通ネットワークの姿を明らかにするマスタープランとしての役割を果たすものなので、将来維持すべき交通網からバックキャスト型で整備・検討できるような計画の策定に努めます。

意見No	実施計画事業	担当課	委員	意見	対応状況
14	4事業 (1)都市計画道路3・4・1号 新木戸上高野原線整備事業 (西八千代工区) (2)都市計画道路3・4・1号 新木戸上高野原線整備事業 (上高野工区) (3)都市計画道路3・4・12 号八千代台南勝田台線整備 事業 (4)都市計画道路3・4・6号 八千代台花輪線整備事業 (県事業)	土木建設課	出雲委員	4事業の評価指標が全て「都市計画道路の整備」になっているが、各事業の達成状況を評価する場合の指標とはならないのではないかと。「用地取得率」などの指標のほうが評価しやすいのでは。	「都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業(上高野工区)」、「都市計画道路3・4・12号八千代台南勝田台線整備事業」の2事業について、ご意見があった通り、前期実施計画〔令和4年度～令和6年度版〕においては評価指標を「用地取得率」に変更しております。 「都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業(西八千代工区)」については、用地は取得済みで整備を残すのみのため、また、「都市計画道路3・4・6号八千代台花輪線整備事業(県事業)」は県事業による整備であり、市としては整備に対しての負担をしている状況であるため、現行の評価指標のままとして目標を整備完了としております。
15	シティプロモーション事業	シティプロモーション課	津田委員	・「新たな情報発信媒体の運用を検討」とあるが、専門家のコメントや支援をもらってはどうか。 ・若い世代の意見を取り入れることが重要である。	・SNSの活用を含めたシティプロモーション事業に関して、適宜、有識者に相談し、助言をいただき、取組に活用してまいります。 ・市の魅力情報を発信する活動を行う高校生魅力発信大使による懇談会を開催し、シティプロモーションに関する意見を伺っており、今後も継続してまいります。
16	庁舎建設事業	庁舎総合整備課	伊澤委員	議場の市民活用を含め多目的な利用に対応したフレキシブルな空間として、広く市民にも親しまれる議場とし、投票率の向上につなげてほしい。	議会事務局と協議中です。
17	情報システム標準化事業	情報管理課	伊澤委員	若い人はデジタル社会でも、様々なシステムを使いこなせるかもしれないが、高齢者は必ずしもそうではない。高齢者がアクセスできないシステムにならないような工夫が必要。八千代市にも民間人材登用を含めたデジタル分野に関する専門職を置き、デジタルに強い職員の育成を行うべき。	年齢等にかかわらず、利用者が迷わず目的を達成できるシステムとなるよう、UI(ユーザー・インターフェース)やUX(ユーザー・エクスペリエンス)の最適化に努めてまいります。

【その他意見】

意見No	項目	担当課	委員	意見	対応状況
18	第1章 ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり	子育て支援課 子ども保育課	津田委員	子育て環境に関しては、放課後子ども教室の他に「児童一時預かり支援事業」や「学童保育所整備事業」、「ファミリー・サポート・センター運営事業」などが列記されている。いずれも「ともに支え合い健やかでいきいきと過ごせるまちづくり」にとって極めて重要な事業であると考え。SDGsはこういう事業で実現されるべきものとする。	今後も各事業を通して、子育て支援を行ってまいります。【子育て支援課】 地域子ども・子育て支援事業における子育て環境の充実、子育て家庭の健康と福祉の向上、ジェンダー平等及び貧困解消等のために重要であることから、今後もご意見のとおり継続して事業拡充に向け推進してまいります。【子ども保育課】
19		長寿支援課 都市計画課	福永委員	高齢者支援に関し、公共機関への循環バスや歩道の整備が進むことによって、歩行による自主的な行動を推進できるのではないか。	高齢者以外の市民にも影響が及ぶことであるのでそれも踏まえ検討いたします。【長寿支援課】 高齢者支援のみを対象とするわけではございませんが、市民の移動手段の確保に努めてまいります。【都市計画課】
20		長寿支援課	福永委員	介護保険に関し、当事者とならないと制度や内容の全体が把握しづらいので早くから関心を持って理解できる工夫が必要ではないか。	「まちづくりふれあい講座」において、「介護保険制度」をテーマにした出前講座の実施や各地域包括支援センターにおいて、近隣住民を対象とした介護予防教室を実施しております。
21	第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり	指導課	津田委員	第2章が目指す中核のアイデアは、前期基本計画の施策「義務教育」にあるESDの推進だと考えている。その目標達成状況を測ることは難しいが、例えば、教師に対しては「教科横断的な視点を持った教育を全小中学校において行えているのか」などについて、生徒に対しては「自分には良いところがあると思っているか」などについてアンケートを実施するなど、ソフト面の調査を毎年度実行してもらいたい。	本市は、学校教育の重点目標に「ESDの推進」を掲げております。授業だけでなく、委員会活動等においても、各学校の特色を活かした実践が行われております。目標達成状況の把握方法について検討したいと考えております。
22		生涯学習振興課	福永委員	義務教育における学校の統廃合や学区の変更により子供会など地域による支援活動が衰退しないよう支援をすべき。	子供会につきましては、学校の統廃合や学区変更の際には、それに伴う影響が想定される子供会の活動に配慮してまいります。
23		保健体育課	福永委員	義務教育における学校給食について、地産地消の構想が含まれていると良い。	地産地消を推進すべく、学校給食では、八千代市産米を使用した米飯を、基本週4日提供し、学校給食のメインに据えています。また、千葉県民の日に県民の日メニューや、地産地消デーに千葉県産食材や千葉県の郷土料理を模した献立などを提供しています。今後も引き続き、地産地消を推進していきます。

意見No	項目	担当課	委員	意見	対応状況
24	第2章 豊かな心と文化を育むまちづくり	文化・スポーツ課	福永委員	市民ギャラリーは、現在新型コロナウイルスのワクチン接種会場となっているため、2年以上に渡りこの施設においてできる事業が中断、継続不可能となっており、施設本来の役割が果たせていない。本市の市民ギャラリーは、特徴の一つとして天井より自然採光を取り入れた人工照明ばかりに頼らない人に優しい施設であり、他の美術館やギャラリーでは見られないものがある。緊急事態のなか止むを得ない事情ではあっても、地域社会の役割を考える上で、市民ギャラリーの利用について検討の必要がある。	市民ギャラリーにつきましては、体の不自由な方や高齢者が安心して使用できる、バリアフリーに対応した施設である点や、市内各駅からのアクセスが良好である点などを考慮し、令和3年3月22日から現在に至るまで、新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種会場として利用しております。この間、施設を直接利用しない形で市民ギャラリーとしての活動を行うため、同施設を管理する指定管理者が、市民会館や勝田台文化センターを利用して講座を開催しております。また、常設展示室では、星裏一氏の作品を始めとする市収蔵の美術品を展示をしておりますが、令和3年6月30日より、オンラインギャラリーとしていつでもパソコン等での視聴が可能となっております。なお、令和5年3月31日をもってワクチン接種会場としての利用が終了予定であることから、4月1日からの再開に向けて準備を進めております。
25		文化・スポーツ課	渡邊(浩)委員	パラスポーツの種目には、老若男女を問わず、障がい者と健常者の区別なく取り組めるものがある。昨年のパラリンピック以降、インクルーシブ及び生涯スポーツとしてメディアの注目度も高く、県内でも千葉市、浦安市、市原市等がPR及び地域活性化の一環として体験会・練習会、イベントや大会の開催を支援している。コロナ禍の中で積極的な推進は難しいと思うが、八千代市でも共生ボーダーレスな未来へ向けたポジティブな取り組みとしてパラスポーツの普及を推進してほしい。	パラスポーツ種目の一つであるボッチャ競技につきましては、ボッチャ用具セットを購入し、貸出しを行っているほか、競技の普及等を目的として、本市スポーツ推進委員が講師となる依頼講座を開催しております。今後も、市民のニーズを把握し、パラスポーツの普及に向けた取り組みについて検討を進めてまいります。
26	第4章 快適で環境にやさしいまちづくり	土木管理課	渡邊(成)委員	近年、局所的集中豪雨が多発していることから、浸水リスクのある上高野地区の浸水対策が懸念される。TOTO、ロジワン八千代物流センター近辺の側溝には蓋やグレーチングが無い所があり、大雨などにより道路が冠水すると、歩道と側溝の境界が分からなくなり大変危険である。蓋を設けるなどの対応を検討してほしい。	現地調査をした結果、一部危険と思われる箇所があったため、対応について検討しております。
27	第5章 産業が元気なまちづくり	農政課	渡邊(浩)委員	農業従事者の高齢化がますます進んでいると感じる。耕作放棄地が拡大していること、有害鳥獣の被害が増えていること等は、マンパワー不足にも原因があると思う。新規就農を目指している人へ八千代市で農業を行うことの魅力やメリットを広く・強くPRする具体的な方策(広告キャンペーンやイベント・フェアなど)が必要ではないか。	新規就農者の確保・育成については、八千代市第2次農業振興計画に就農時の経営資源の確保の支援等を位置付けており、これに基づき令和5年度予算予算において県費補助を活用した補助事業として、農業次世代人材投資資金並びに経営発展支援事業及び経営開始金を合計32,625千円を計上しております。

意見No	項目	担当課	委員	意見	対応状況
28	第4部 計画の推進のために	企画経営課	福永委員	中長期的な計画ではPDCAサイクルと市職員の異動が噛み合わない意識が変わってしまう。計画構想の段階から進捗管理へと移行する中で全体像が見失われがちである。	施策等の効果・成果の検証を行う中で、その施策等の目的・目標を改めて明確にする手段としては、PDCAサイクルを具体化する行政評価制度等による、施策等の評価の実施が肝要であると認識しているため、現在、行政評価制度について検討しているところです。
29		企画経営課	伊澤委員	新型コロナウイルス感染症対策に関する事業は必須であると考ええる。	新型コロナウイルス感染症は市民生活や企業活動に大きな影響を及ぼしたことを踏まえ、感染症対策のみならず市民生活や企業活動に対する支援など総合的に勘案し、事業を検討してまいります。
30		企画経営課 情報管理課 総務課	伊澤委員	デジタルに関する事業は必須であると考ええる。	国が示す自治体DXの推進における重点取組事項等に取り組むことで、行政サービスのデジタル変革による市民生活の利便性の向上等が期待できることから、今後、本市におけるDX推進に関する方針等を策定するなどデジタル化の推進について検討いたします。【企画経営課】 八千代市ICT利活用推進計画に基づき、行政サービスのデジタル変革による市民の利便性の向上等が図れるよう同計画に掲げた各取組を推進いたします。【情報管理課】 令和5年4月から情報管理課を情報政策課に、情報化推進班を情報化・DX推進班と改称し、DX施策の推進体制を整備いたします。【総務課】